

PCT

(法第12条、法施行規則第56条)
[PCT36条及びPCT規則70]

WIPO

PQT

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

<input checked="" type="checkbox"/>	第Ⅰ欄	国際予備審査報告の基礎
<input type="checkbox"/>	第Ⅱ欄	優先権
<input type="checkbox"/>	第Ⅲ欄	新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
<input type="checkbox"/>	第Ⅳ欄	発明の単一性の欠如
<input checked="" type="checkbox"/>	第Ⅴ欄	PCT第35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
<input type="checkbox"/>	第Ⅵ欄	ある種の引用文献
<input type="checkbox"/>	第Ⅶ欄	国際出願の不備
<input type="checkbox"/>	第Ⅷ欄	国際出願に対する意見

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2004年1月)

第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

- ☐ この報告は、_____ 語による翻訳文を基礎とした。
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。
- ☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査
- ☐ PCT規則12.4にいう国際公開
- ☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☒ 出願時の国際出願書類

☐ 明細書

第 _____ ページ、出願時に提出されたもの
第 _____ ページ*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
第 _____ ページ*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 請求の範囲

第 _____ 項、出願時に提出されたもの
第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの
第 _____ 項*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
第 _____ 項*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 図面

第 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの
第 _____ ページ/図*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの
第 _____ ページ/図*、 _____ 付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
- ☐ 請求の範囲 第 _____ 項
- ☐ 図面 第 _____ ページ/図
- ☐ 配列表(具体的に記載すること)
- ☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

- ☐ 明細書 第 _____ ページ
- ☐ 請求の範囲 第 _____ 項
- ☐ 図面 第 _____ ページ/図
- ☐ 配列表(具体的に記載すること)
- ☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)

請求の範囲 1, 2

請求の範囲

有
無

進歩性 (IS)

請求の範囲

請求の範囲 1, 2

有
無

産業上の利用可能性 (IA)

請求の範囲 1, 2

請求の範囲

有
無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1: JP 58-27839 A (三菱電機株式会社) 1983.02.18,
全文; 第2図 (ファミリーなし)

文献2: JP 5-157036 A (ローベルトボツシュ ゲゼルシャフト ミット
ベシュレンクテル ハフツング) 1993.06.22, 第1図
& US 5432701 A & DE 4115032 A
& GB 2256928 A

請求の範囲1、2に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1または文献2により進歩性を有しない。絞り弁の設置位置と吸気量センサの設置位置の距離を、吸気管の径の大きさに対してどの程度にすべきかということは、当業者が適宜選択すべき設計的事項に過ぎない。